

政治・経済定点観測レポート

## ウズベキスタン NOW

### 【第 10 号:2010 年 4-5 月期】

- \* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

#### 経済発展の実績

2010 年第 1 四半期のウズベキスタン GDP は 7.6%増、国家予算は対 GDP 0.2%の額の黒字で執行された。鉱工業生産 7%増、農業生産 6.1%増であった。住民へのサービス売上高は 12.2%、建設工事売上高は 20.1%増加した。輸出額は 22.1%増、直接外国投資の消化額は昨年同期の 2.6 倍増だった。政府予測によれば、2010 年は GDP - 8.3%、工業生産 - 8.3%、農業生産 - 5%、基本投資 - 22.1%の成長が見込まれている。インフレ率は 7 - 9%の範囲に抑えることが計画されている。

#### 第 1 四半期の外国投資消化額は 2009 年同期比で 2.4 倍増

国家統計委員会のデータによると、ウズベキスタン政府の保証により導入された外国投資の消化額は第 1 四半期には 775 億スム (20.2%減)、直接投資額は 1 兆 4,260 億スム (2.7 倍増) であった。投資総額のうち外資の比重は昨年同期の 22.3%に対し、51.7%に増えた。

第 1 四半期の外国投資を経済部門別に見れば、燃料エネルギー・コンプレックス - 45.6% (昨年同期は 50.2%)、運輸・通信 - 23.4% (29.8%)、軽工業 - 15.8% (10.3%) である。投資の財源別分布では、予算資金 - 1.6% (昨年同期は 7.8%)、企業資金 - 23.7% (47.7%)、住民資金 - 11.1% (8.5%)、予算外基金と「復興開発基金」の資金 - 6.4% (10.5%)、商業銀行資金 - 5.5% (2.2%) だった。

#### IMF などがウズベキスタンの経済成長率を予測

国際通貨基金 (IMF) が 2010 年のウズベキスタンの GDP 予測成長率を 7%から 8%へ引き上げた。IMF の予測によると、2010 年のウズベキスタンのインフレ率は 9.2 となる。国際収支の差額は 2009 年の水準に対 GDP 5.1%にとどまる。成長の主要ファクターとなるのはウズベキスタンの主要輸出品目の国際価格が順調なことである。一方、アジア開発銀行 (ADB) はウズベキスタンの 2010 年の経済成長率を 8.5%と予測して

いる。ADB のアナリストの意見によると、成長の主要ファクターになるのはウズベキスタンの主要貿易相手国の経済回復、積極的な工業政策、輸出額と投資流入額の増大である。ウズベキスタンの主要輸出品目の国際価格も順調に推移する見込みである。

## 金融セクター

### 2010-2012 年期の商業銀行の資本化推進と投資活動強化に関する措置プログラムを承認

これについての「大統領決定」は、商業銀行の資本総額を 2010 年末までに 3 兆 6,000 億スムに増やすことを定めている。そのために商業銀行の今年度中の総額 4,900 億スムの増資（新株発行）と今後毎年 20% 強の資本化増強確保の措置がとられる。プログラムはまた、銀行の長期預金の総額を 1 兆 6,000 億スム増やし、今後さらに年率 20% 超で増やしていくことを定めている。金融機関は国内財源により 2010 年中に経済に対する長期融資を総額 3 兆 2,000 億スム支出しなければならない。さらに、2011 年 1 月 1 日から新設商業銀行および私有銀行の定款記載資本金は 2 倍に引き上げられ、それぞれ 1,000 万ユーロと 500 万ユーロになる。今日、ウズベキスタンの銀行システムは 30 の商業銀行で構成されている。そのうち 3 行は国営銀行、5 行は外資参加銀行、11 行は株式銀行、11 行は私有銀行である。

### ウズベキスタンで非銀行金融組織支援基金の設置を計画

同新提案の草案が提出されたのは、4 月 7 日のウズベキスタン全国小規模金融組織・信用金庫協会（NAMOiKS）の年次総会。新基金の基本目的は住民各層の金融支援に関する社会福祉プログラムの発展と、小規模金融機関への支援、市民の信用金庫預金の保護である。新基金は協会と各社会福祉基金との共同プロジェクトの拡大を刺激することになる。これらの共同プロジェクトには家族企業活動、小規模ビジネスおよび畜産業の振興、女性の福祉と社会保障の向上、農村の若者の企業活動参加促進に関するプログラムが含まれている。

NAMOiKS は 22 の信用金庫と 21 の小規模金融組織を擁している。協会の全会員の資産総額は 2010 年 1 月 1 日現在で 522 億スムだった。そのうち信用金庫の資産は 478 億スム、小規模金融組織の資産は 44 億スムである。協会員の信用金庫・小規模金融組織による 2009 年の貸出量は、前年比で 84% 増え、461 億スムにまで伸びた。信用金庫の預金総額は 353 億スムになった。2008 年末のこの額は 190 億スムに過ぎなかった。

### アジア開銀が小規模ビジネス・マイクロビジネスへの融資拡大のため、ウズベキスタンの 3 銀行に総額 5,000 万ドルの借款と 60 万ドルの無償援助を提供

アジア開発銀行理事会は小規模ビジネス・マイクロビジネス振興に関する第 2 プログラムの枠内で商業銀行「イパク・イウリ」、「ハムコルバンク」、「アグロバンク」に

融資枠を開設することを承認した。ハムコルバンクとアグロバンクは 2,000 万ドルずつ、イパク・イウリは 1,000 万ドルの提供を受ける。計画では、これらの銀行は製品生産、サービス提供、または投資目的のために小規模ビジネス・マイクロビジネス主体に融資を行なう。

### **アジア開銀とウズベキスタン政府が総額 10 億ドル超の一連のインフラ整備案件に関して融資協定に調印**

これらの案件パッケージには次のものが含まれている—タリマルジャン熱併給発電所のコンバインドサイクル発電プラント (3 億 5,000 万ドル)、「中央アジア地域経済協力プログラム」の枠による主要道路回廊の 1 本 220km の改修 (マルチトランシェ融資プログラムによる 6 億ドル)、給水分野の諸案件と小規模融資プログラム拡大のための資金支出。今日までにアジア開発銀行はウズベキスタンに総額 25 億ドル超の 34 件の融資を提供した。アジア開銀はまた技術協力のために総額 4,100 万ドルを超える資金も供与した。

### **エネルギーセクター**

#### **Aral Sea Operating Company がアラル海ウズベキスタン水域西部の契約区域で商用ガスを採取**

2009 年に同契約区域で地震探鉱作業が実施され、4 ヶ所の有望地点が発見されていた。近く同じ区域で 2 本目の探鉱井ボーリングが開始されるが、これによりガス埋蔵量のより正確な予測が可能になる。2006 年にウズベキスタン政府と国際コンソーシアム (「ウズベクネフチェガス」、ロシアの「ルクオイル・オーバーシーズ」、マレーシアの「ペトロナス」、韓国の KNC、中国の CNPC で構成) はこの案件に関して期間 35 年の PS 協定に調印した。

協定の条件によれば、コンソーシアム参加者は初期段階で生産物を 10%ずつ所有することになる。ウズベキスタン側の最低取り分は 50%である。PS 協定は 2007 年 1 月に発効した。プロジェクト実施のために Aral Sea Operating Company が設立された。今日まで、同プロジェクトには 7,500 万ドル・オーダーの資金が投下済みである。2010 年には国家投資プログラムに基づき、1,700 万ドルの事業実施が計画されている。

#### **2010-2015 年に外国会社はウズベキスタンの石油・ガス資源の地質調査に最大 19 億ドルを投資する見込み**

ウズベクネフチェガスの情報によると、商業開発用炭化水素埋蔵量の増加分に占める外国投資家の地質調査によって発見された部分の比率は、2016 年までに最大 50%に達する可能性がある (2009 年実績では 39%)。2006 - 2009 年の期間にウズベキスタ

ンの石油・ガス資源地質調査のために導入された外国投資額は約 12 億ドルだった。外国会社に引き渡された有望鉱区の合計面積は現在、標準燃料換算 4,060 億トンの予想埋蔵量を擁する鉱区総面積の約 64%を占める(予想埋蔵量では全体の 52.5%を占める)。最近、外国会社の参加により共和国内で 15 の有望鉱床が発見された。

#### **2011-2016 年にナヴォイ州でオイルシェールの採掘・加工を計画(費用 1 億 5,000 万ドル)**

オイルシェールを総合的に加工する同生産施設の建設は、ナヴォイ州の「サングレンタウ」鉱床をベースにして計画されている。予備的な数字によると、加工工場は年間 30 万トンまでの石油製品と 50 万トンの芳香族炭化水素を生産する。オイルシェール加工の実現可能性調査について一連の会社と交渉が開始された。ウズベキスタンのオイルシェール埋蔵量は 470 億トンと推定されている。

#### **2010 年にウズベキスタン初の試験用風力発電機(出力 750kW)の建設を計画**

GAK「ウズベクエネルギー」の専門家たちは韓国の Doojin 機械会社と協力してチャルヴァク貯水池付近(タシケント州ボスタルィク地区)にすでに高さ 40m の風速計マストを建設し、関連計器・設備の組み立てを終えて、風のパラメーターの測定を実施している。この試験用風力発電機が稼動すれば、年間 230 万 kWh の電力が新たに生産され、年間 70 万 m<sup>3</sup> の天然ガスを節約できるものと予想されている。ウズベクエネルギーの専門家の話では、カラカルパクスタン共和国、ナヴォイ州、ブハラ州、タシケント州、カシカダリア州の気象条件ならば同様の風力発電機の導入が可能である。

#### **2010-2014 年に中国国営石油ガス会社(CNPC)はナマンガン州ミンゲブラク石油鉱床開発に 2 億 1,170 万ドルを投資**

2007 年 8 月に CNPC と国家持ち株会社「ウズベクネフチェガス」の間で意向議定書「フェルガナ盆地の鉱床における採掘拡大に関する協力について」が調印された。CNPC は採掘期限の長い石油鉱床 200 ヲ所オーダーの追加開発を計画していた。回収性の低い鉱床を開発し、その産出量を 2 - 3 倍に増やすための合弁企業を数社設立することが計画されている。

#### **世界銀行とウズベキスタンがタリマルジャン＝ソグジアナ間高圧送電線建設案件作成に関する相互理解についての覚書に調印**

この案件は、タリマルジャン＝ソグジアナ間に屋外配電設備を備えた 500kV 高圧送電線を建設することを予定している。案件の実現により、ウズベキスタン南西地域の電力需要の高まりに応え、電力供給の安定性を向上できる。また、ウズベキスタンの電力の輸出力増強も確保される。

## その他のセクター

### 中国の株州電気機関車会社でウズベキスタン向け新型電気機関車第 1 号が完成

これはウズベキスタンの注文で製造される電気機関車 15 台のうちの 1 台。株州電気機関車会社 (Zhuzhou Electric Locomotive Works) との契約価格は総額 7 億 3,800 万ドルで、そのファイナンスは中国政府から上海協力機構加盟諸国に提供される資金 (95%) と「ウズベキスタン・テミル・イウラリ」(国有鉄道) の自己資金 (5%) によって行なわれている。2002 年に調印された最初の契約に基づき、中国のこの会社はすでに 12 台の電気機関車をウズベキスタンに納入済みである。現在、国内の鉄道機関車のうち、電気機関車が占める比率は 23.5%。ウズベキスタンは 10 年間に電化路線の延長を 2,000km まで伸ばすことを計画している。

### 2010 年第 1 四半期に「ウズベキスタン・ハヴォ・イウラリ」(国営航空)は昨年同期比で便数を 5%、乗客数を 17%増やした

ウズベキスタン国営航空機は第 1 四半期に 5,663 便のフライトを行なった。これは昨年同期よりも 273 便多い。また、44 万 6,000 人の乗客を輸送したが、これは昨年同期比で 6 万 5,000 人多い。貨物輸送量 (有料手荷物と郵便物を含む) も増えた。第 1 四半期の貨物輸送量は 1 万 1,000 トンで、これは昨年同期のほぼ 3 倍である。

### 外国自動車のウズベキスタン国内通過料金を値上げ

タジキスタン共和国の貨物自動車とバスのウズベキスタン入国・通過料金は 2008 年制定の 50 ドルに代わって 90 ドルに決められた。トルクメニスタンの自動車の場合、この料金は次のようになる一積載量 10 トン未満の貨物自動車と座席数 12 未満のバスは 35 ドル (これまで 20 ドル)、積載量 10 トン以上の貨物自動車と座席数 12 以上のバスは 55 ドル (30 ドル)。その他の外国の貨物自動車とバスの通過料金は 175 ドルになる (100 ドル)。なお、同様の入国・通過料金を相互に徴収しない条約をウズベキスタンと結んでいる外国の自動車は、この制度は適用されない。

### ウズベク・ドイツ合弁企業「Man Auto-Uzbekistan」はサマルカンドでのトラック組立台数を 2013 年までに年間 1,000 台に伸ばす予定

この合弁企業は 2010 年末までに 700 台、2011 年に 800 台、2012 年に 1,000 台を組み立てる計画である。Man Auto-Uzbekistan は 2010 年 6 月に現在インドで生産されている CLE 改装型の組立に着手する。ウズベキスタンは CIS 圏でこの型の最初の生産国になる。以前にドイツの会社の首脳部は、Man のトラックを CIS 諸国、アフガニスタン向けに輸出するためにこの合弁会社の生産能力を利用すると述べたことがある。合弁会社の生産能力増強はこれと関係している。

**ドイツの Daimler AG と株式会社「ウズアフサノアト」がバス製造合併会社設立協定に調印**

合併会社の名称は「Manufacturing Buses Central Asia」。快適性を高めた観光バス、長距離バス、低床式都市バスと中型バスをメルセデス・ベンツのブランドで製造する。すべてのバスは、今年ウズベキスタンで施行されたユーロ 3 排ガス規制基準を満たす。協定にかかわる取引の妥結は今年の第 3 四半期に予定されている。新設される生産施設では年間最低 600 台のバスを完全現地組立で製造することができ、段階的に生産台数を増やすこともできる。